



ゆめに向かう『やる気』ゆめをかなえる『本気』何度でもやり直す『根気』

輝け！口石っ子 佐々町立口石小学校 学校便り

令和3年4月30日 5号 文責 校長 岩下裕之介

代表委員会

「今日6時間目に第一回代表委員会をするので、よかったら見に来て下さいませんか。」と、運営委員会の6年生のお友達が、とても丁寧な態度で校長室にあいさつに来てくれました。

「1年間のスローガンを決めよう」というテーマで話し合いがあることは、代表委員会便りで事前に知っていたのですが、その提案理由が素晴らしかったので、紹介したいと思います。

令和3年度がはじまりました。新しいクラスにはもうなれましたか？

昨年のスローガン「絆」～協力し絆を深め、みんなで前へ～についての活動に協力して下さいありがとうございました。

今年も、一つのスローガン達成に向けて口石小のみんなと力を合わせて取り組みたいと思います。運営委員会では、このスローガンを通して、

「やる気、本気、根気を出し、明るくやさしさいっぱいの中石小学校にしたい。」

と思います。

そこで、今年のスローガンを作ることを提案します。今年も漢字一文字のスローガンにして、**口石小学校のみんなの気持ちを一つにしたい**と思います。

15時10分スタートでしたが、時間通りに会議が始まります。まずは、この会議のめあてを議長が確認します。

「1年間の大事な話し合いなので、人の話をよく聞いてたくさん発表しよう。」です。その後、各学級で話し合ったスローガンを画用紙に書いたものをみんなに見せながら発表していきます。各学級から提案された漢字は、「仲」「結」「心」「超」「進」「虹」「輝」の7つの漢字です。それぞれの漢字を選んだ理由を発表していきます。

「1年生にもわかりやすいし、読みやすい漢字だから。」

「仲を深めることは大切だから。」

「コロナの中でも友情を結べることは良いことだから。」

「みんなであきらめずに前に進むことが大切だから。」

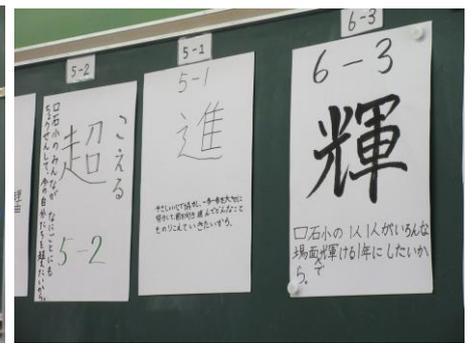
漢字を選んだ理由がしっかりしているのはもちろんですが、学級で話し合った意見を発表して終わりではなく、代表委員会に参加している子どもたちが、友達の意見をしっかりと聞いてから、今年度の口石小学校にとって一番ふさわしい漢字を自分で考えて発表する姿が素晴らしかったです。

また、友達の意見を真剣にうなずきながら聞いたり、「これは良い意見だ！」と思った時には拍手を送ったりと、話の聞き方もとても上手で驚かされました。

そうした建設的な話し合いの結果、決まった今年度の漢字は「超」です。

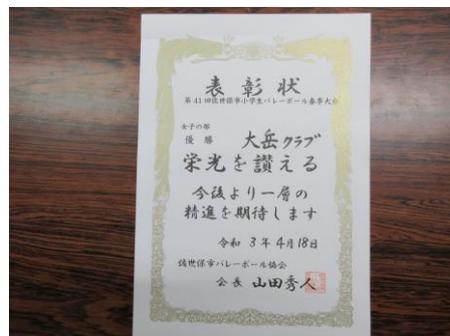
理由は、「口石小のみんなが何事にも挑戦して、今の自分たちを超えたいから」です。

コロナ禍の今だからこそ、今、自分たちができることに挑戦し、さらに高みを目指して目の前の壁を越えていこうという強い意志を感じた素晴らしい代表委員会でした。



活躍する子供たちの紹介

第51回 佐世保市小学生バレーボール春季大会 優勝 大岳クラブ



4月は、子どもたちの「勉強名人」「心をみがく一日一善」「お手本」の姿をたくさん見せてもらいました。今日で4月が終わり、明日から大型連休に入ります。今度は御家庭の方でもそうした姿が発揮できるように、子どもたちへの声かけをお願いします。5月6日の木曜日に元

気に登校してくれることを楽しみに待っています。